



チャレンジ クッキング

お菓子編

パーティシェ 上野実里菜さん

うえのみりな

私は、クッキーとかスponジを焼いているときのにおいがとても好きで、幸せだなあと思います。もちろん食べてもらって、喜んでもらったときも、すごくうれしいです。お菓子は、誰でも笑顔になれるものなので、そういうところが好きです。私の目標は、長野県に帰つてお店を開くことです。私はイチゴのショートケーキが好きなので、スponジのふわふわ加減とか、しつとり加減とかにこだわり、自分が一番おいしいと思えるものを作れたらいなと思います。

お菓子でみんなを笑顔に



この連載から、お菓子作りを始めた人もいると思います。もっともっと興味を持って、お菓子作りを楽しんでもらえたらと思います。



科学遊び大図鑑

かざまりんぺい

主婦の友社 1500円+税

信毎こども新聞の「作って遊んでサイエンス」(毎月第4土曜日)でおなじみの、かざまりんぺいさんが著者です。「科学」を遊びながら身につけることができるようまとめた本です。

アルキメデスがあ風呂に入つて「体積をはかる」原理を見つけたように、ニュートンがリンゴが木から落ちるのを見て「引力」を発見したように、手を使い、体を使って、実際にやってチャレンジすると、科学の本当のおもしろさがわかるはず一と、りんぺいさんは書いています。

遊びは全部で41種類。ビニールひもが空中に浮かぶ「ふわふわクラゲ」や、牛乳と酢ができる「おいしいカッテージチーズ」、遠くまで飛ぶ「ストロー飛行機」など、いろいろな実験、工作を紹介しています。



本のとびら



信毎こども新聞の3つの連載が最終回を迎えました。筆者の真鍋真さん、青木麻衣子さん、上野実里菜さんからみなさんへのメッセージが届いています。紹介しますね。

国立科学博物館 真鍋真さん

まなべまこと

わくわく 心童 探検



解けなかった問題や謎が、一生懸命に考えていると「ああ、そうだったのか！」と分かる瞬間がありますよね。できなかつことを、練習を重ねているうちにできるようになった瞬間はうれしいですよね。研究は、問題や課題を与えられるのではなく、自分で探して、それを解こうと努力する仕事です。信毎の連載では、みなさんとの質疑応答というキヤッチボールから多く

の謎へのヒントをいたしました。たくさんの方の素朴な疑問や鋭い質問をありがとうございました。



麻衣子さんのファッショナドバイス

スタイリスト 青木麻衣子さん

あおきまいこ

私自身、子ども服のスタイルの仕事に多く関わらせていただいているが、みんなのリアルな声やファッショントを知ることができ、とても勉強になりました。

ファッショントに、正解や間違いではなく、自分の好きなものを着てハッピーな気持ちになれば一番だと思います。それを楽しむためのヒントを少しでもプレゼントできたらうれしいです。



これからも、おしゃれを楽しんでくださいね！ 長い間ありがとうございました。

